

職業：広報



毎日、公式サイトに情報発信をするほか、各種イベントの広報も行う。5、6企画を同時に進行させなければいけないこともあり、マルチタスク力が鍛えられる仕事だ

Fビレッジの楽しさを届けるのが私の役目！
「北海道ボールパークFビレッジ」に足を運んでもらうために、情報発信やメディア対応、イベントの企画・運営、ファンサービスなど、多岐にわたる広報業務を担当しています。前職は、東京のテレビ制作の会社で、フロアディレクターと送出卓ディレクター※を務めていました。8年間テレビ業界にいて、そろそろ違うことに挑戦したいと思

い、転職を決意。ちょうど募集記事を見つけたことが、今の仕事に就くきっかけでした。当初は右も左も分からず、上司の打ち合わせに同行して少しずつキャッチアップ。誰かが教えてくれるのを待つのではなく、自分で考えて行動する姿勢が欠かせませんでした。現在は球団のシリーズイベントなどにも参画しています。例えば「北海道肉祭り」は清宮幸太郎選手とレイエス選手の動画企画を立

イベントと情報でFビレッジの楽しさを発信

案し、チームから承諾を得て、撮影班など、関わるすべての人の調整を行いました。再生回数も好調で、お客様からの評判も良く、それが何より嬉しいと感じています。自分の広報活動を通じて、「球場に行ってみよう」と思ってくれる方が増えること、球場で楽しむ人の姿に触れられることが、この仕事の一番の喜びです。

※送出卓ディレクター：テレビ番組の生放送や収録において、副調整室から番組全体の進行を管理する人

みなさんへメッセージ

興味の幅を広げる！

広報

球場集客のための広報、イベント企画・運営、情報発信を担う仕事。

株式会社 ファイターズ
スポーツ&エンターテイメント
広報PR室

〇〇〇〇〇〇さん(33歳)

【出身中学校】北広島市立緑陽中学校
【出身高校】札幌日本大学高等学校

取材協力

株式会社 ファイターズ
スポーツ&エンターテイメント

ボールパーク開発・運営業務、プロ野球関連興行業務を行う北海道日本ハムファイターズの事業運営会社。

北広島市Fビレッジ1番地
https://www.hkballpark.com/
【設立】2019年(令和元年)10月 【従業員数】150名
代表取締役社長 小村 勝



「さくらノート」は、広告媒体や求人誌と異なり、直接的な利益を計る訴求効果というものはありません。では、協力して下さる地元企業様が、「さくらノート」に期待するものとは何なのか。

“さくらノート”には、7つのよろこびがあります。

1. 地域の若い世代に、自分たちの仕事を伝えるよろこび
2. 学校の教材に、家族や会社の仲間が登場するよろこび
3. 子供たちが親の仕事を理解し、尊敬の念をいただくよろこび
4. 共に働く仲間の、職業観や人生観を共有するよろこび
5. 自分の仕事の意義を再認識し、他者の仕事から学ぶよろこび
6. 貢献する社員に対し、期待と信頼の気持ちを表すよろこび
7. 将来、仲間となる若い力を期待するよろこび



1. 診断や治療に必要な検査や処置のため行う、注射、点滴、採血は看護師にとって重要な仕事の一つ
2. 情報管理のため、パソコン入力は日々行う業務
3. 昨年から副主任になり、部下の育成も行うようになった對馬さん。育成をシステム化することを提案し、しっかりと構築するのに苦労したと話す



命の重みと向き合い

患者さんの想いをつなぐ看護師

職業：看護師

**病棟で緊張感を持って
迅速に対応し命を救う**

看護師である母の姿に憧れて、自分も看護師を目指しました。札幌東徳洲会病院に入職したのは、学生を応援してくれる奨学金制度があったからです。その制度を利用して、学校を卒業しました。忙しい病院と聞いていたので、多くの経験が積めると思ったのも入職の理由の一つです。

配属先は、循環器・心臓血管病棟。母の影響で医療ドラマもよく見ていたのですが、現実の現場は想像以上の緊張感があり、ドラマ以上だと感じました。最初の1年間は無我夢中で、先輩の処置を見てはメモを取り、実際にやってみることで技術を身につけていきました。注射は苦手でしたが、循環器病棟では点滴の機会が多く、次第に自信を持てるようになったのも大きな成長です。仕事に少しずつ慣れてきた

のは3年目頃からです。5年を過ぎたあたりからは、自分で考えて、患者さんの状態を判断し、周囲の動きを理解しながらチームの一員として動いていると実感できるようになりました。

**臨床倫理認定士の資格を
取得し深まる看護の視点**

常に命の重さを実感する病棟で、忘れられない出来事があります。入職して2年目の春に、病室で元気にヒゲを剃っていた患者さんが、そのわずか15秒後に倒れ、自分をはじめ心臓マッサージをして救命措置を行いました。患者さんの突然の変化に驚きましたが、元氣そうに見えても油断せず、常に先を考えて行動することの大切さを学びました。

現場で命と向き合うなかで、患者さんの価値観を尊重し、適切な意思決定を支援する「臨床倫理」の重要性を実感し、臨

みなさんへメッセージ

常に生産性の
あ子日々を!

看護師

入院患者や傷病者の看護や診療の補助を行う専門職。

札幌東徳洲会病院
2階循環器・心臓血管外科
看護師・副主任

〇〇〇〇さん(30歳)

[出身中学校] 岩見沢市立光陵中学校
[出身高校] 札幌大谷高等学校



※臨床倫理認定士:医療現場など起こる治療方針や終末期ケアなどの倫理的問題について患者さんや家族が納得できる判断を下せるようサポートする専門家

取材協力

医療法人 徳洲会 札幌東徳洲会病院



「生命だけは平等だ」の理念のもと、全国各地に医療施設および介護施設を展開する徳洲会グループは日本最大級の医療グループ。札幌東徳洲会病院は札幌東部および石狩圏の基幹病院としての機能を果たしている。

札幌市東区北33条東14丁目3-1 TEL.011-722-1110
http://www.higashi-tokushukai.or.jp
[設立]1986(昭和61)年2月
[従業員数]1,000名
病院長 山崎 誠治 看護部長 渡邊 綾